

平成26年度事業報告・収支決算報告

平成27年6月26日、舞鶴グランドホテルにおいて開催された通常議員総会で平成26年度事業報告、収支決算が承認されました。

I 総括的概要

平成26年度の日本経済は、金融緩和などの経済政策や円安の急激な進行等の影響により、企業収益は改善の動きが見られ、雇用情勢も改善傾向にあり、景気は引き続き回復基調の下に推移しました。

しかしながら、都市部や大手企業に比べ、地方の中小企業を取り巻く経営環境はまだまだ厳しいというのが現実です。

こうした中であって、本市においては、近畿・北陸・中部を結ぶ高速道路網が完成し、また京都舞鶴港のさらなる機能強化が図られたことで、陸路・海路を通じた「人」「モノ」の流れが飛躍的に増えることになり、京都府北部に大きなビジネスチャンスの到来する年でありました。

なかでも、全国的な“海の祭典”である「海フェスタ京都」大会については、京都府北部地域いわゆる「海の京都」の魅力を全国に発信し、さらなる地域の活性化につなげる絶好の機会であることから、7月19日（土）から8月3日（日）の期間中には、京都府北部の5市2町が各々の地域資源を活かした様々なイベントを取り組み140万人を超える入込み客を集めることができました。

当所においても、この大会を成功させ地域活性化に繋がりたいとの強い思いから、近畿商工会議所連合会総会の場においてプレゼンする機会を得て「海フェスタ京都」大会のPRと京都府北部地域「海の京都」の魅力を2府5県の70商工会議所の仲間に発信しました。

本年度の当商工会議所の運営にあたっては、「“オール舞鶴”で、私たちの『夢』を実現しよう!」をスローガンに掲げ、地域の経済・雇用を支える中小企業を活性化し元気な企業を増やしていくことを目標に、①「企業活動を通じて、まちを磨く!」、②「夢と意欲ある、企業を磨く!」、③「会員みんなで、組織を磨く!」の三つを基本方針として、地域の中核的存在としての商工会議所本来の役割を果たしていけるよう努めたところであります。

II 事項別項目

1. 定款及び諸規則

- 定 款
平成27年3月27日の臨時議員総会において変更
- 諸規則 給与規則
平成26年9月19日の常議員会において改正

2. 組 織

- 会員数……………1,119事業所
- 部 会……………10部会
- 委員会……………7委員会
- 特定商工業者数……772事業所
- 役員・議員……………会頭1名、副会頭2名、
専務理事1名、監事3名、常務理事1名、
常議員25名、議員80名（役員含む）

3. 選挙及び選任

平成26年度は、第31期の任期中である。

（第31期議員役員の任期
平成26年11月1日～平成28年10月31日）

4. 事務局

- 機構と職員数
総務課3名、中小企業相談所7名、商工観光センター5名

5. 庶 務

文書…発信360件	受信…1,236件
表彰…2件 60名	受賞…該当なし
慶弔…71件	会議出席…108件

6. 会 議

- | | |
|---------------|--------------|
| ○議員総会……………2回 | ○常議員会……………4回 |
| ○正副会頭会…14回 | ○監査……………1回 |
| ○部会長会議……………1回 | ○部会……………31回 |
| ○委員会……………45回 | |